

ジョリアオレの「今」が詰まった3rd LIVE開催!!



Jolly forest Jazz orchestra
(ジョリーフォレストジャズオーケストラ)

メンバー **引田麻代**さん

「今回の3rd LIVE、みの〜れ10歳をお祝いして、想いを込めて演奏します!」と語る引田さん。

みの〜れと共に生活するスタイル
Minole Life
のすすめ No.59

若葉の眩しい季節がやってきた。小さな生まれだての若葉がぐんぐん萌えだしマイナスイオンのシャワーをたっぷりと降り注ぐ大きな葉っぱになった。四季文化館(みの〜れ)をすっほりと包みこむこの若葉の季節は来館してくる人たちにとっても目にも心にも優しい時季だ。みの〜れ住民楽団楽団四季「ジョリーフォレストジャズオーケストラ」(通称ジョリアオレ)も今年9歳の誕生日を迎える。6月24日にはゲストにボーカル仲野亜紀子さん、演劇ファミリーMYouを迎え、みの〜れ10歳記念事業として3rd LIVEが行われる。今回はジョリアオレ誕生から10歳記念事業として3rd LIVEを担当で石岡市にお住いの引田麻代さん取材する。

いい音楽を届けたい

引田さんとジョリアオレの出会いは、仕事の関係でみの〜れに来たときのことだった。みの〜れ住民楽団楽団四季「ジョリーフォレストジャズオーケストラ」のメンバー募集のポスターを見て、高校生の時にトランペットを吹いていたので楽団に興味をもち、すぐに加入した。引田さんはジョリアオレが立ち上がった時からメンバーで、9年間活動を続けており、一番最初のライブのステージにも立っている。

最初にみの〜れに来たのは、オープンから1年くらい経ったときでした。大きくも小さくもなく、地元の人が使いやすいホールだと思いました。まさか自分がこのステージで演奏するとは思わなかったし、10年も続けるのは思っていたいなかった。10年続けているメンバーは3〜4人だと思っています。私も一時期ジョリアオレに来ること、そしてトランペットを吹くこと自体も苦痛になってしまし、辞めようかと思った時期がありました。そのことを局長は

見抜いていたのか、バリトンサククスへの楽器チェンジの契機をくれました。そのことが転機になり、バリトンサククスがもつと上手くなりたいたいという気持ち膨らみ、みの〜れに行くことが楽しくなったと当時を振り返る。「バリトンサククスはトランペットと同じで肺活量が必要です。おそらく管楽器の中で一番重い楽器だと思つので、もはや力仕事(笑)。表に出てソロ演奏をする楽器よりは、裏方に徹する楽器のほうが好き。自分でもジョリアオレに入るときはこんなが続けられると思わなかった。ここまで続けられたのは仲間:ジョリアオレのメンバーがとてもいい人たちばかりで仕事仲間とはまた違う潤いを与えてくれる人たちのおかげだと思います」と引田さんは話す。

引田さんの趣味は、今回の3rd LIVEで共演する仲野亜紀子さんのライブを観に行ったり、ライブハウスに行ったりすること。「みの〜れでボーカルレッスンを受けてるので将来的にはジョリアオレで歌ってみたいという夢があります」と話す。

楽団四季は50年続く楽団を目指しているの、続けていくことが一番難しいと思います。来年で結成10周年なんですけど、一時期メンバーがすごく減ってし

まったのですが、一つ一つ乗り越えて今があると思います。3rd LIVE公演が終わったら、次は自分たちの10周年記念4th LIVEを行う予定です。3rd LIVEを皮切りに色々なライブに出演が決まりとても多忙ですが、それ以上にとっても楽しいです。

「ジョリアオレで苦難困難もなく10年過ごした人はいないと思います。でも現在はメンバー全員仲良しで、高校生から定年退職した人まで代代的にも幅広くまわっている。メンバーが仲良くないとい音かまともならない。今はきつといい音を皆さんに届けることができると思います」と語る。

「今回は映画『スイングガールズ』の劇中曲も演奏します。ジャズを知らなくても聞いたことがあるなと思えるような、耳馴染みのある曲を用意したので今まで以上に楽しめると思います。今回のライブは「制作」・「広報」・「演出」と係り分けをし、ステージを創るということに全員が関わっています。必ずや最高のステージにしてみせます」と笑顔で話してくれた。

結成から9年。引田さんもバンドのメンバーも目標を高く持つてステップアップしています。今回の3rd LIVE、最高のステージを私たちに届けてくれることでしょう。(藤田 佐知子)